

東京教区時報

第1174号
2010年7月18日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

数年前、私はアメリカのウィリアムズ主教の墓前礼拝に中高生達と一緒に赴いたことがありました。樹木に囲まれた小さな丘の上にある主教の墓石を前にしたとき、私は激しい衝動に襲われました。「こんなにも遠い国から、若きウィリアムズは、伝道の船出をしたのか!」。それは、若き一宣教師の、まだ見ぬ遠いアジアに向けた深く熱い伝道の思いでした。「命がけでアジア伝道に行こう!」とした青年の心を、中高校生はじめ、参列者は皆、感じたに違いありません。

《み手のなかで》

み手の中で、命がけで…

中島 博

でなく、精神的にも、あらゆる雑事をそぎ落として「宣教」という精神活動一点に集約した敬虔な人でした。私達の教会や、学校の基となった人は、きらびやかな衣をまとった人ではありませんでした。偉い学者でもなかった。著書もなかった。人々の中にいけば、この人が日本の聖公会を建てた偉い人とはだれも気づかないような人だったので。雄弁家でもありませんでした。訪問伝道を務めと心得た、実践と祈りの人であつたと、立教の年史には記されていません。

ここに日本の聖公会の魅力があると、墓前で祈りながら、間違いない、参列者は皆、墓碑が語りかけてくる思いを共有したに違いありません。

(目白聖公会信徒)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

◇7月の代祷・信施奉献先
▽アジア学院の働きのため▽海
の主日(7月第2主日7・11)
▽聖公会八王子幼稚園のため▽
女性の家HELIPのため
◇堅信受領
7月4日 聖テモテ教会
▽芝田陽治▽伊藤聖▽伊藤愛▽
吉川珠江▽小野暢久(聖テモテ)
◆教役者レクイエム
7月21日(水) 10時半
主教座聖堂
説教 井口 諭司祭
▽司祭 後藤栄吉▽司祭 堀江謙
作▽司祭 多川幾造▽執事 永田
保治郎▽伝道師 ミス・マングダ
司祭 E・H・アーノルド
◆としえの平安
6月11日 吉見ウタ子(90)
池袋

今週・来週の予定

7月18日~31日

- 18 (日) 聖霊降臨後第8主日
主 教 巡 回
聖マリア教会 協議会
外濠G教会 協議会
ハラスメント防止説明
会 (聖テモテ)
山手G教会 協議会
環状G教会 協議会
休 第112(臨時)
多摩G教会 協議会
19 (月) 教区会 (主教座)
21 (水) 教役者レクイエム
22 (木) 財政委員会
24 (土) 報告会: エルサレム教
区協働委員会
25 (日) 聖霊降臨後第9主日
主 教 巡 回 真光教会
下町G教会 協議会
ハラスメント防止研修
会 (神愛)
26 (月) 城南G教会 協議会
ハラスメント防止委員
会
27 (火) 銀座朝拝会
聖職養成委員会
29 (木) 礼拝音楽委員会

7月7日 阪本 明夫(73)
聖アンデレ
▽聖公会神学院「教会音楽」
集中講座 9月2日(木) 3
日(金)。講師 宮崎光司祭、加
藤啓子。①聖餐式の聖歌を読む
②聖餐式の音楽の役割・本質
③聖歌集は時空を超えた祈り
の宝庫 ④礼拝の歌「倍祈る」
の4セッションで、参加費11
ームロッジ
セッション2千円。事前課題あり。申込・課題締切 8月31日(火)。詳細照会・申込 03(3701)0575・同院。
◇夏季キャンプ(1)
▽清瀬聖母 7月31日(土) デ
イキャンプ・小金井公園&教会
▽聖マルチン 8月7日(土)
9日(月)・湯の丸高原シヤロ

◇第112(臨時)教区会開催
次期東京教区主教選出のため
の臨時教区会は、明19日(月・
休)9時から17時、聖アンデレ
主教座聖堂で開会聖餐式をもつ
て開始される。続いて同聖堂を
議場に、議長・植田仁太郎教区
主教により、教役者議員・各教
会信徒代議員の出席で議事が進
められる。書記には中川英樹司
祭と菅原裕治司祭が当たる。

信仰と生活委員会報告

(7月8日)

*聖書の分かち合い

*宣教主事報告

*各委員会・教会グループなど
の報告。

*8月28日(土)に聖公会神学
院で「学びのデイキャンプ」裸

足の宣教く日本聖公会宣教15
0周年記念聖餐式カンタベリー
大主教説教を通して学ぶ』を
開催。

*COAと共催する中高生夏期
キャンプの費用については計画
書に基づき予算を立てて支出。

*その他

▽プレ宣教協議会・東京教区

代表5人 浅見国貴(信仰と生
活委員会)・大畑喜道司祭(正
義と平和協議会)・黒澤圭子
(常置委員)・卓志雄司祭(青年

担当)・横倉正義(財政委員会)

が決まり、8月18日〜20日に、
箱根スコレプラザホテルで開
かれる同協議会へ向けて、6月
30日に常置委員長等と準備会を
行った。次回は8月3日。

《今、この教会では…》

聖アンデレ教会

やや食傷気味な言葉だが、わ
れらが目指すは「持続可能な」
教会だと考える。常に再生産し
ながら新しくなっていく教会。

その原動力が「子どもと祝う
ユーカーリスト」だ。既に10年以
上続けられ、関わった多くの人
々が豊かな恵みをいただき、教
会に根づいている。初期の子ど
もたちは既に中高生や大学生
で、礼拝奉仕をはじめ教会の諸
活動で大活躍している。

また、ジャズや寄席、浅草聖
ヨハネ教会の給食活動支援など
外に向けた様々な行動が、新た
な働き手を教会に巻き込み根付か
せるための、もう一つの原動力
になっている。(鈴木幸夫)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】55 オルガニスト研修会 に参加して

梅雨の合間の一日、葛飾茨十
字教会にて「オルガニストの心
得」という、期待が高まるテー
マで研修会が開かれた。

同教会管理牧師・下条裕章司祭
の「目配せで司祭の気持ち分か
るオルガニストになって欲しい
…」との言葉が印象に残るお話
で会は始まった。午前中は講師
である聖パウロ教会オルガニス
ト佐藤礼子先生に、ご自身の体
験を通じて、オルガニストはど
うあつたら良いか? 何をどうい
う気持ちで練習すれば良いか?
具体的なエピソードを交えて内容
の濃いお話をしていたのだ。

「理性と感性両方が必要とされ

るオルガニストだが、感性は色
々な礼拝に出席し、感動を覚え
ることで磨かれる。感性は音に
なって現れるが、技術性だけでは
なく、音楽性の優れた演奏は感動
を礼拝にもたらし、より良い賛
美を捧げることができる。

音楽性はどうかやって高めてゆけ
るか? 外からの刺激や、自分
を客観視すること、そして、内
からの祈りが探究心を生み、探
究心が練習を生み育てられる。

人数も、年齢も、その時のテ
ーマも違う一回一回の礼拝で、
如何に会衆の祈りを神へのより
良い賛美として捧げることがで
きるか、一生辿り着けないゴー
ルに向かっている…という先
生のお話には、礼拝を聴き、感じ
ることを大切にして、そこに生

まれる祈りの心で演奏のご奉仕
をさせていただきたいとの思い
を強くした。

午後は、司式者、奏楽者の立
場で礼拝音楽委員の方々がパネ
リストになり、佐藤先生の司会
でパネルディスカッションが行
われた。「聖歌の選曲」「新し
い聖歌」「オルガニスト会の持
ち方」「オルガニストの心得」
等、より具体的な内容で、教区
内の教会それぞれの環境の違い
に改めて思いをいたす時だつ
た。その後、近隣教区、他教派
の方を交えた参加者は、小グル
ープで分かち合いの時をもち、
夕の祈りを共に捧げて、実り多
い研修会の日を終えた。

清瀬聖母教会

小森陽子